



## 5. 質疑応答

### 1) 広場の舗装について

【質問】石張の舗装はベビーカーや車イス、足の不自由な高齢者にとっては非常に歩行しにくい。またブロックの舗装でもガタガタとした場所があり同様である。ちょっとした段差も危険であるので配慮してほしい。

【回答】広場内にはキッチンカーや管理車両の乗り入れ等を想定しているため舗装には一定の強度が必要であるため舗装材の制限がありますが、車イス対応の段差が出来にくい舗装や滑り止め加工の採用を検討していきます。

### 2) 点字ブロックについて

【質問】視覚障害者にとって非常に便利な点字ブロックは、ベビーカーや高齢者にとっては段差ができたりガタガタが生じるなど非常に不便な物である。その配置については今後一緒に考える機会をもうけていただきたい。

【回答】西山天王山の駅前や高架の下の公園整備で視覚障害者の方々に実際にアドバイスを求めたこともあり、西山公園でも同じようにご意見を伺いたいと考えています。

### 3) かまどベンチについて

【質問】長岡京市内でかまどベンチを使った訓練を行ったことがあるが、焚き口が大きい非常に効率が悪くお湯を沸かすだけでも時間を要した。炊き出しに効率の良い備品を倉庫に備蓄する方法でも良いのではないか。

【回答】かまどベンチの仕様や炊き出し用の備品についてはご意見を参考に詳細設計で検討します。

### 4) 広場内のみまもりについて

【質問】昨今では子どもの行方不明ということもあるので竹藪へは行けないようにするとか、出入り口を絞るなど対応を配慮してほしい。

【回答】広場には外周柵を設置し樹林地や竹林への侵入を防止するとともに、道路沿いには花壇を設置し飛び出しに配慮しています。

### 5) 生きもののふれあい空間について

【質問】京都府では「環の公共事業ガイドライン」を作成しており、設計に先立って生物調査を実施したり、有識者に意見を伺った上で設計に反映するという仕組みがある。市の事業で全てを対象にするのは難しいだろうが、活動団体の知恵を使う、地域の専門家の意見をもらうというのを設計前に行ってはどうか。

【回答】今後、活動団体の意見を踏まえながら詳細設計を進めていきたいと考えておりますので、気づいた点などアドバイスを今後お願いしたい。

### 6) 整備指針（案）の適用範囲について

【質問】「いつでもだれでもみんなが憩い楽しめる公園づくり」整備指針（案）は市内の全公園を対象にするのか。

【回答】市内の公園を一気にとなると膨大な予算が必要であり、利用頻度が少ない公園まで改修するとなると費用対効果という観点から非常に厳しい事態となります。

現在検討しているのは、ある程度規模があって利用者の多い公園を対象として、校区単位などを参考に10箇所程度の公園への適用を当面の目標としたいと考えています。

## 6. 閉会の挨拶

閉会の挨拶と広場整備や指針について今後ともご意見を頂戴したく気軽に連絡をいただきたい旨をお伝えしました。